

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 村田英一 副委員長 田野 哲・眞田幸俊・福田英輔

幹事 且代智哉・須山 聡 幹事補佐 山本哲矢・西村寿彦・石原浩一・村岡一志・衣斐信介

日時 6月22日(水) 13:30~16:55

23日(木) 9:00~17:30

24日(金) 9:00~16:40

会場 琉球大学工学部大会議室(中頭郡西原町字千原1. 那覇空港より高速バスで約45分, 琉大入口下車または那覇バスターミナルより路線バスで約50分, 琉大北口下車. http://www.u-ryukyu.ac.jp/univ_info/general/access/index.html 齋藤将人)

議題 初めての研究会, リソース制御, スケジューリング, 無線通信一般

22日 RCS1

1. HF 帯用広帯域可変バンドパスフィルタの試作と評価 ○千葉 隆・横野 聡(日本無線)
2. 5.6 GHz 帯空間分割マルチチャネル Wi-Fi システム ○松浦一樹・太田喜元・藤井輝也(ソフトバンク)
3. 周辺移動散乱体の影響を考慮したドップラー周波数に基づく端末移動速度推定アルゴリズムの屋外実験評価
○マイティ ソウラブ・星野兼次・三上 学・藤井輝也(ソフトバンク)
4. 複数基地局間協調送信制御を用いたハンドオーバー性能向上に関する検討
○緒方大悟・金沢 昇・長手厚史(ソフトバンク)

RCS2

5. IEEE802.11ax 向け STA 始動アップリンクマルチユーザプロトコルに関する研究
○宮本卓真・杉山雄一・上井竜己・長尾勇平・ラナンテ レオナルド Jr.・尾知 博(九工大)
6. 高度化C-RANにおけるCCの割り当て制御法に関する一提案 佐竹 孝(NTT)
7. 利用サービス特性を考慮したマルチドメイン無線リソース制御の検討
○岸田 朗・小泉大輔・森広芳文・浅井孝浩(NTTドコモ)

Express セッション

8. Evaluation on using Common Channel and Group Channel in D2D Networks
○Huan-Bang Li・Ryu Miura・Kojima Fumihide(NICT)

23日午前 初めての研究会 プレゼン1

1. Faster-than-Nyquist における確率伝搬法を用いた干渉除去の検討
○木原光太郎・西村寿彦・大鐘武雄・小川恭孝(北大)
2. 有相関伝搬路における確率伝搬法のための事前情報の正規化に関する一検討
○高橋拓海・衣斐信介・三瓶政一(阪大)
3. 符号化大規模MIMO 空間多重における干渉除去を適用した低演算信号検出に関する検討
○濱 優人・落合秀樹(横浜国大)
4. Massive MIMO におけるホタルアルゴリズムを用いたビームフォーミング制御の一検討
○山中貴司・樋口健一(東京理科大)
5. 高精度MIMO チャネル状態フィードバック情報圧縮法における補間ベクトルの初期設定法
○尾関真人・樋口健一(東京理科大)
6. Massive MIMO におけるチャネル予測及び差分量子化を用いた主成分分析によるチャネル圧縮手法
○長嶋 嶺・大槻知明(慶大)・姜 聞杰・鷹取泰司・中川匡夫(NTT)
7. インパルス応答推定に基づくチャネル予測手法に関する検討
○奥村香菜子・小川恭孝・西村寿彦・大鐘武雄(北大)

初めての研究会 プレゼン2

8. 多値変調カオスMIMO 伝送方式への外部符号接続による特性改善の検討 ○堀池直登・岡本英二(名工大)
9. MU-MIMO-OFDM THP における周波数相関を用いたオーダリング計算コスト削減に関する検討
○蛭間信博・丸小倫己(早大)・留場宏道・小野寺 毅(シャープ)・前原文明(早大)
10. 反復符号を用いた過負荷MIMO システムにおけるアンテナ選択の有無による特性比較
○任 泰範・松岡 輝・眞田幸俊(慶大)
11. Rician フェージング環境におけるプレコーディング係数を用いた過負荷MIMO システムの特性検討
○宮城裕一・眞田幸俊(慶大)
12. 直交符号によるユーザ間信号分離を用いた過負荷MIMO システムの検討 ○中原 慧・眞田幸俊(慶大)
13. 非直交多元接続方式(NOMA)への符号分割多重(CDM)適用による性能改善
○北川博規・岡本英二(名工大)
14. 小容量データ通信の大規模多元接続のためのターボ等化に関する検討

○寺本弦生・衣斐信介・三瓶政一（阪大）

15. BLE のための独立成分分析を用いた信号分離に関する一検討 ○瀧川将弘・三瓶政一・衣斐信介（阪大）

23 日午後 初めての研究会 ポスター 1（12：40～）

初めての研究会プレゼン 1 とプレゼン 2 の計 15 件の御講演に関しまして、ポスター講演を行って頂きます。

RCS3

16. 15 GHz 帯 5G 無線アクセスの屋内スモールセル環境におけるビームトラッキング特性の実験的評価

○立石貴一・栗田大輔・原田 篤・岸山祥久（NTT ドコモ）

17. 屋内人体密集環境下における 26 GHz 帯伝送特性の実験的検討

○岩渕匡史・新宅俊之・井之上瑞紀・鬼沢 武・阪田 徹（NTT）

18. 5G における高 SHF 帯・広帯域 Massive MIMO の SU-MIMO アンテナ構成検討

○中川兼治・井浦裕貴・内田 繁・岡崎彰浩・岡村 敦（三菱電機）

19. 5G における高 SHF 帯・広帯域 Massive MIMO の実現に向けた非線形ブロック多重対角化プリコーディングの移動環境における伝送特性 ○井浦裕貴・平 明德・西本 浩・内田 繁・岡崎彰浩・岡村 敦（三菱電機）

20. 第 5 世代移動通信システム実現に向けた分散アンテナ協調信号伝送と送信電力ピーク低減

○安達文幸・熊谷慎也・宮崎寛之・アムナート ブンカジャイ・関 裕太・齋藤智之（東北大）

招待講演

21. [招待講演] 周期的にアンテナパターンが変動するアンテナを用いた受信ダイバーシチ及び MIMO 受信方式に関する研究 齋藤将人（琉球大）

24 日午前 初めての研究会 プレゼン 3

1. 路車間通信のための省電力分散符号化ランダムスリープ方式

○後藤勇輝・尾形 駿・石橋功至（電通大）・平山泰弘・中田恒夫（デンソー）

2. システムスループット観測値に基づく基地局 ON/OFF 制御法のアルゴリズム改善の検討

○氏家 彪・樋口健一（東京理科大）

3. システムスループット観測値に基づく基地局 ON/OFF 制御法基地局における基地局間情報交換に関する一検討

○高橋浩亮・樋口健一（東京理科大）

4. ヘテロジニアスネットワークにおけるシステムスループット観測値に基づく適応送信電力制御法の検討

○齊藤隆太・樋口健一（東京理科大）

5. システムスループット最大化を実現する適応セル選択法の高速化に関する一検討

○福原 翔・樋口健一（東京理科大）

6. LTE における QoE とシステムスループットを考慮した無線資源配分アルゴリズム

○堀 啓洋・大槻知明（慶大）

7. Potential Game Based Distributed Channel Selection for Starvation Mitigation in WLANs

○Bo Yin・Shotaro Kamiya・Koji Yamamoto（Kyoto Univ.）・Hirantha Abeysekera（NTT）

初めての研究会 プレゼン 4

8. トレリスシェイピングを適用した OFDM 信号に対するクリッピングに基づく低演算ピーク電力低減手法の検討

○渡邊順也・落合秀樹（横浜国大）

9. シングルキャリア周波数領域等化（SC-FDE）を用いたアナログ画像伝送に関する一検討

○船木洋晃・アムナート ブンカジャイ・安達文幸（東北大）

10. UF-OFDM における耐長遅延多重波伝送方式 ○栗木寛斗・水谷圭一・原田博司（京大）

11. 帯域幅の異なるサブキャリアを適用した GFDM の提案 ○赤井雄太・圓城寺優香・眞田幸俊（慶大）

12. 自フロー内干渉キャンセラを用いたダイナミックマルチホップネットワークの特性解析

○砂田勇介・山尾 泰（電通大）

13. 一括収集法におけるブラインドシリアル干渉キャンセラによる周波数オフセット対策

○酒井健宏・田久 修（信州大）・太田真衣（福岡大）・藤井威生（電通大）・笹森文仁・半田志郎（信州大）

14. PLNC における低信頼中継局による CSI 偽装への対策

○白崎裕介・田久 修（信州大）・藤井威生（電通大）・大槻知明（慶大）・笹森文仁・半田志郎（信州大）

24 日午後 初めての研究会 ポスター 2（12：30～）

初めての研究会プレゼン 3 とプレゼン 4 の計 14 件の御講演に関しまして、ポスター講演を行って頂きます。

RCS4

15. 符号化フレームレス ALOHA の次数分布最適化 ○尾形 駿・石橋功至（電通大）

16. PPP based cellular networks analysis combining multiple channel models

○He Zhuang・Tomoaki Ohtsuki（Keio Univ.）

17. 無線 LAN における送信電力・キャリア検出閾値反比例設定法の解析—ポアソンネットワークにおけるスループット解析— ○山本高至（京大）・アベセカラ ヒランタ（NTT）

18. ミリ波 5G におけるアクセス回線とバックホールの同時最適化に関する研究

○小川弘顕・下平英和・Gia Khanh Tran (東工大)・阪口 啓 (東工大/Fraunhofer HHI)・Thomas Haustein (Fraunhofer HHI)

19. A Study of Energy-and Spectral-Efficiency for Dense HetNet Scenario with Non-Uniform BS and UE distributions

○Abolfazl Mehdodniya・Rintaro Yoneya・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)

初めての研究会 表彰式

◎23日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆RCS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月20日(水)～22日(金) 名工大〔締切済〕テーマ：無線分散ネットワーク, M2M (Machine-to-Machine), D2D (Device-to-Device), 一般

8月18日(木), 19日(金) 東北学院大〔6月10日(金)〕テーマ：移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

山本哲矢 (パナソニック)

E-mail : rcs_ac-entry@mail.ieice.org